

「街路樹の維持管理」

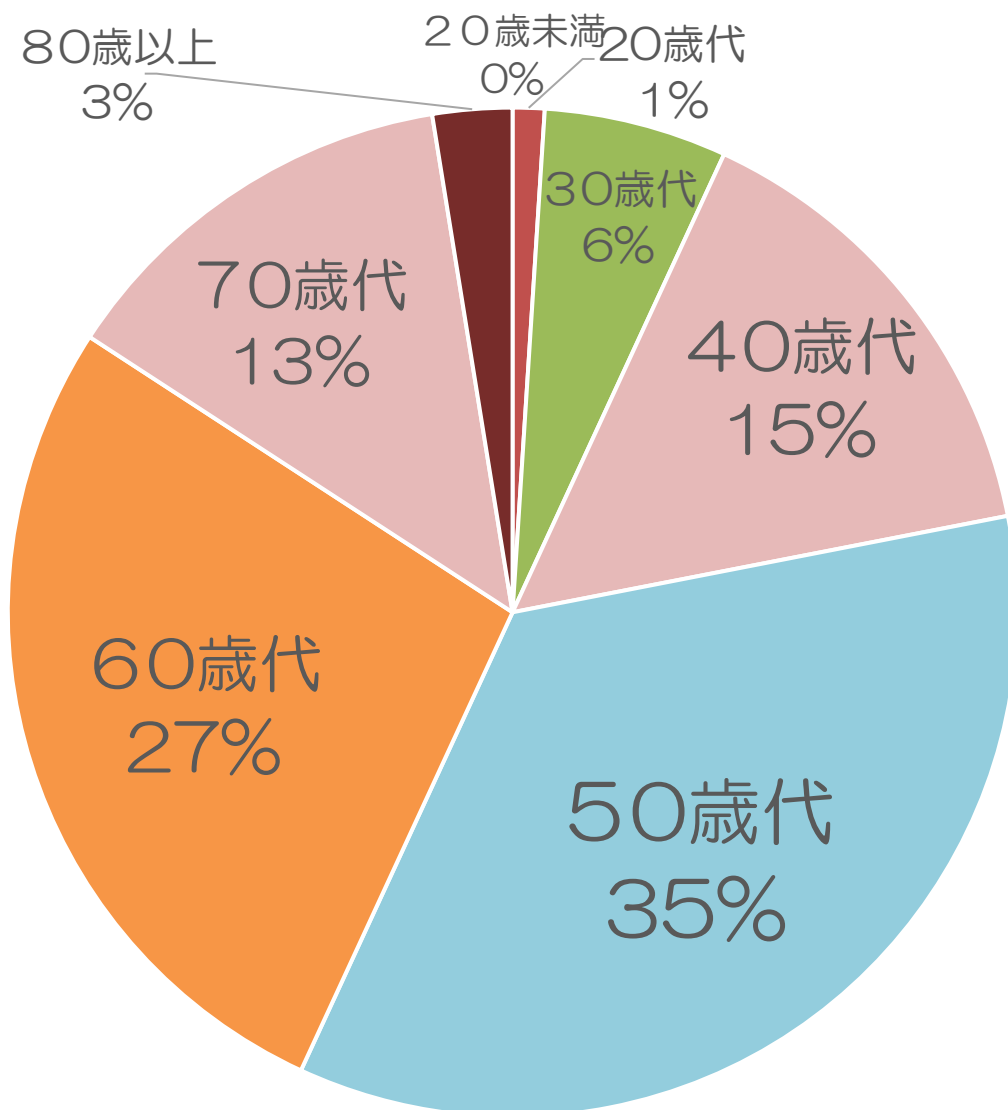
に関する町田ちょこっとアンケートの実施結果

募集期間 2026年2月27日（金）
～
2026年3月3日（火）

対象者数 2,786 回答者数 392

回答率 14.1%

回答者の年代

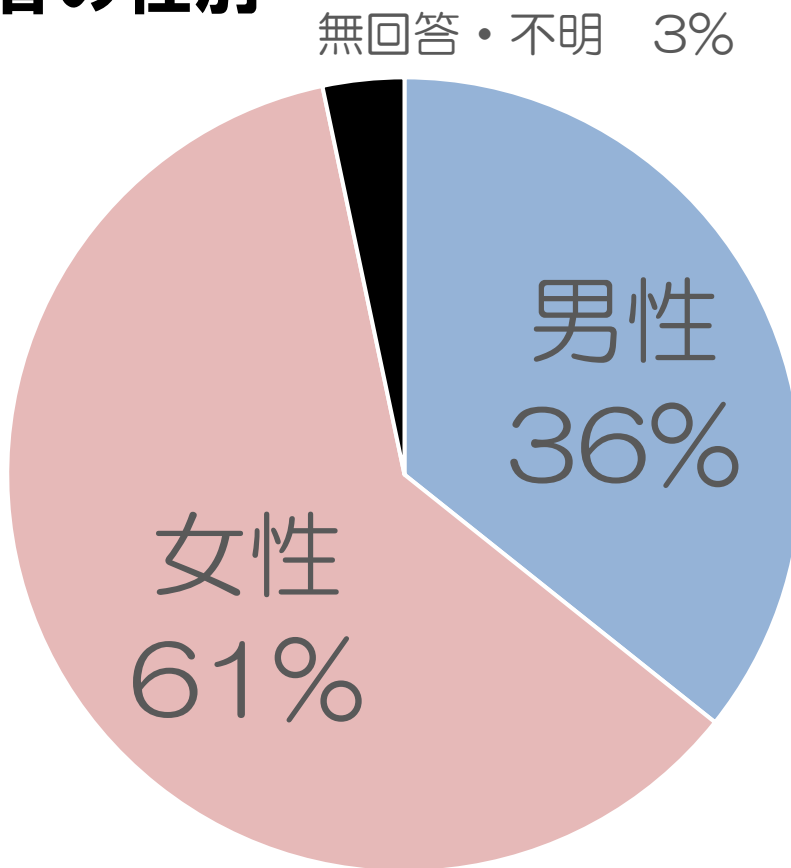


年代	件数
20歳未満	0
20歳代	4
30歳代	23
40歳代	59
50歳代	137
60歳代	107
70歳代	52
80歳以上	10
合計	392

「街路樹の維持管理」

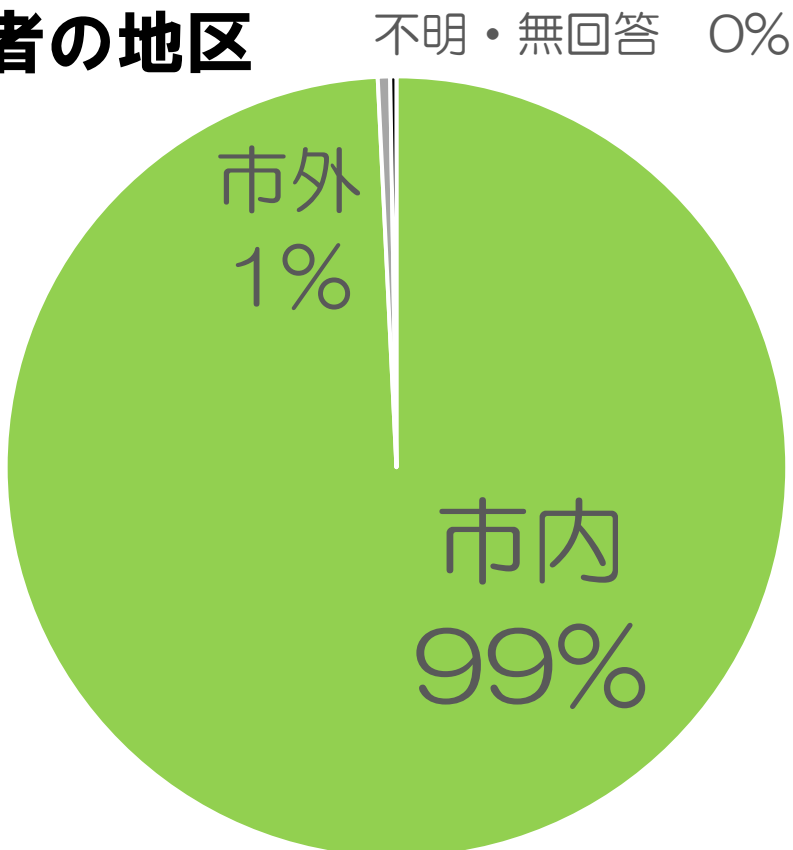
に関する町田ちょこっとアンケートの実施結果

回答者の性別



性別	件数
男性	140
女性	239
無回答・不明	13
合計	392

回答者の地区



地区	件数
市内	389
市外	2
不明・無回答	1
合計	392

「街路樹の維持管理」 に関する町田ちょこっとアンケートの実施結果

質問 1

「町田市街路樹更新計画」についてご存じですか。

65.2%の方が、「聞いたこともない」と回答しました。

設問	回答数	構成比
聞いたこともない	255	65.2%
聞いたことはあるが、内容は知らない	86	22.0%
内容について多少知っている	50	12.8%



質問 2

町田市では、安全で歩きやすい道路を確保するため、老朽化した街路樹の伐採や植え替えを計画的に進めています。あなたが「この木は優先的に伐採（または植え替え）すべきだ」と感じるのは、どのような状態のときですか。

390名中295名が、「倒木や枝が落ちたりする危険があるとき」と回答しました。

倒木や枝が落ちたりする危険があるとき

75.6%



信号機・標識が見えにくかったり、街灯の光が遮られているとき

74.4%

歩道がデコボコになり、段差でつまずきそうなき

72.1%

見通しが悪く交通安全上の不安を感じる時

72.1%

害虫（毛虫など）が発生して不快感を感じる時

35.4%

落ち葉の清掃が負担だと感じる時

19.0%

質問 3

町田市は今後、単に木を植えるだけでなく、維持管理がしやすく、景観にも配慮した「質の高いみどり」への転換を目指しています。伐採した後の道路空間において、あなたが最も重視するポイントは何ですか。

27.8%の方が、「道幅を広げ、ベビーカーや車椅子でも通りやすくなること」と回答しました。




設問	回答数	構成比
道幅を広げ、ベビーカーや車椅子でも通りやすくなること	109	27.8%
視界が開け、明るく見通しの良い道路空間になること	95	24.2%
花が咲く、紅葉するなど、季節を感じられる樹種への変更	81	20.7%
木の広がりによる豊かな緑量を維持すること	79	20.2%
落ち葉が少なく、日常の清掃負担が軽減される樹種への変更	28	7.1%

質問 4

今後の低木の管理について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

61.4%の方が、「見通しの悪い場所や狭い歩道の低木は撤去してよい」と回答しました。

	設問	回答数	構成比
 第1位	見通しの悪い場所や狭い歩道の低木は撤去してよい	239	61.4%
	景観や緑量を維持するため、現状のままで良い	122	31.4%
	低木は必要と感じていない	28	7.2%

質問 5

町田市では、伐採した街路樹を単に廃棄するのではなく、家具や雑貨などの「資源」として再利用する全国的にも珍しい取り組みを民間企業と連携して進めています。この取り組みについて、あなたの考えに近いものはどれですか。（活用例）市庁舎2階食堂 ダイニングテーブル・椅子設置

38.0%の方が、「木が有効活用されるのであれば、伐採への抵抗感が少なくなる」と回答しました。



設問	回答数	構成比
木が有効活用されるのであれば、伐採への抵抗感が少なくなる	149	38.0%
リサイクルにかかるコストが気になる	85	21.7%
公共施設（図書館や市役所など）で、リサイクルされた家具を使ってみたい	78	19.9%
伐採した木で作られた製品の購入や利用を検討したい	68	17.3%
あまり関心がない	12	3.1%